

# 第1学年\*組 保健体育科（体育分野）学習指導案

指導者 石山 美雪

## 1 単元名 球技（バレーボール）

### 2 目 標

- 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 (技能)
- 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、作戦などについての話し合いに貢献しようすることなどや、健康・安全を確保することができるようとする。 (態度)
- 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

### 3 指導に当たって（男子\*名、女子\*名、計\*名）

本クラスは、運動に対して積極的に取り組む生徒が多いが、一部に消極的な生徒も見られる。また、中学校において大部分の生徒がバレーボールの授業を経験しているが、基本的な技能が身についていないのが現状である。そこで、本単元でも引き続き基本的な技能の習得に重点を置き指導する。さらに、バレーボール経験者を中心に4人のグループを作り、バドミントンコートを利用したゲームを多く取り入れることで、連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるように指導したい。

### 4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間にに対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>・球技を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型では、空間を作りだすなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方にについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・審判の方法について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

### 学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 仲間と協力して取り組んでいる。</li> <li>② 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。</li> <li>③ 競技のルールを守つて取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己やチームの課題を適切に設定している。</li> <li>② 個人の課題やチームの課題を改善するために、適切な練習方法を取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① サービスでは、ねらった場所に打つことができる。</li> <li>② ポジションの役割に応じて、拾ったりついだり打ち返したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 技能の名称や、その行い方について理解している。</li> <li>② 審判の方法を理解し、実践できる。</li> </ul>

## 5 指導と評価計画（12時間扱い）

	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじ め 50 分 × 1	<p>○基本的なオーバーハンドパスとアンダーハンドパスを身につけよう。</p> <p>○用具の準備・片付けの仕方を確認しよう。</p> <p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内での約束事の確認</li> <li>・ルールの確認・審判法</li> <li>・技能の名称</li> <li>・オーバーハンドパスとアンダーハンドパスのポイント説明</li> </ul>				①
な か 1 50 分 × 2	<p>ねらい①</p> <p>○オーバーハンドパスとアンダーハンドパスを身につけよう。</p> <p>【ペアで行う】</p> <p>1 キャッチボール（肩慣らしを兼ねて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片手投げ（左右）</li> <li>・両手投げ</li> <li>・たたきつけ（両手）</li> <li>・たたきつけ（片手）</li> </ul> <p>2 オーバーハンドパス</p> <p>※ 苦手な生徒はキャッチしながら</p> <p>3 アンダーハンドパス</p> <p>※ 苦手な生徒はワンバウンドを加えながら</p> <p>●授業の前半を基本的なパスの練習、後半は10人グループをつくり、ランニングパスをする。</p>	①			①
な か 2 50 分 × 1	<p>ねらい②</p> <p>○攻撃の起点となる場所に返球しよう。</p> <p>1 チーム分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人1組のグループ（経験者1人ずつ入る）</li> </ul> <p>2 返す場所を設定し、返球する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を分担して、返球を想定したパス練習</li> </ul> <p>●この練習後、バドミントンコートでミニゲームに入していく。</p>	①		②	
な か 3 50 分 × 1	<p>ねらい③</p> <p>○サービスを狙った場所に打ってみよう。</p> <p>1 自分に合ったサービスの仕方をみつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フローターサービス</li> <li>・アンダーハンドサービス</li> <li>・サイドハンドサービス</li> </ul> <p>2 狙った場所に打つ。</p> <p>コートを9つに区分けし、狙った場所に打つ</p> <p>●サービスの練習後、ミニゲームに入していく。</p>			①	
な か 4 50 分 × 2	<p>ねらい④</p> <p>○ネットを超えるボールを打ち込んでみよう。（アタック）</p> <p>1 ネット際でボールをアタックヒットさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手投げしたボールを「1・2・3」のタイミングでその場ジャンプして打つ。</li> <li>・経験者の生徒によるトスで打つ。</li> </ul> <p>●アタックの練習後、ミニゲームに入していく。</p>			②	
ま と め 50 分 × 5	<p>○競技会を行い、勝敗の喜びを味わおう。</p> <p>1 チーム戦（リーグ戦）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判法</li> </ul> <p>※ まとめの1/5では、4人1組のチームで試合を行い、それ以降の授業では6~7人1組チームに編成しなおして取り組む。</p>	②		②	②

## 6 本時の学習

### (1) 本時のねらい

○ネットを超えるボールを打ち込むことができる。 (アタック)

### (2) 展開 (8/12)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点、方法
はじめ '10 分	1 用具の準備 2 出席確認・準備体操 3 本時のねらいと学習内容の確認	・協力して準備するよう助言する。 ・元気よく体操をするよう助言する。	<関心・意欲・態度②> 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。
	○ ネットを超えるボールを打ち込んでみよう。 (アタック)		
なか 35 分	4 基本的なパス ・キャッチボール  ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス  5 ネット際でアタック ・経験者による実演  ・投げたボールをその場ジャンプで打つ。	・キャッチボールの際、肘・手の順で投げるよう助言する。 ・肘は顔のあたりに来るよう助言する ◇肘が下がる生徒には、投げる時の正しい姿勢をとらせたあとに、ボールを手のひらにのせてから投げるよう指示する。  ・額でボールをとらえさせるよう声掛けする ・脚をつかい、バケツの水を出すようなイメージでパスをするよう声掛けする。 ・強さなどよりも、手に当てるタイミングやネットを超えることが目標であることを確認する。 ・タイミングをつかみ、手にボールを当てることができるよう助言する。 ・経験者に拍手を忘れない。  ・最初にボールを投げる役目は経験者にする。(その後、役割を交代するよう声掛けする) ・「1・2・3」の掛け声を教員自ら率先して行う。  ・生徒の状況を見ながら、スwingに挑戦してみるよう声を掛ける。	
	6 ミニゲーム バドミントンコートを用いて、ゲーム形式でアタックの実践	・今まで授業で行ったことを生かして積極的に打っていくよう声を掛ける。	<運動の技能②> ポジションの役割に応じて、拾ったりついだり打ち返したりできる。 (学習時の観察)
まとめ 5 分	9 片づけ  10 集合、本時の授業を振り返る。  11 挨拶	・全員で協力し、安全を配慮して片づけるよう助言する。 ・生徒を指名し、今日の感想を聞く。  ・整列し、落ち着いた雰囲気で体育委員に号令を促す。	<関心・意欲・態度②> 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて